

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 豊中市

実践研究校名 豊中市立南丘小学校

【公開授業】公開日：平成26年1月28日

対象学年：6年

(教材・教科書名) Hi, friends! 2 (单元名) Let's go to Italy	(本時の指導の目標) ① 自分の行ってみたい国を理由とともに言うことができる。 ② 行きたい国について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ③ 世界には様々な文化があり、様々な人たちが生活していることに興味を持つ。
---	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・ 国名を英語での言い方に慣れるため、チャンツやゲームを毎回取り入れた。
- ・ 南丘パスポートをつくり、より実際の場面に近くなるように工夫をした。

(授業後を終えた教員の感想)

- ・ “I want to go” の言い方に慣れ、楽しそうに活動していた。
- ・ 一人で発表する場面を設定したため、子どもたちは達成感を味わうことができた。

【研究協議会】

(テーマ) 外国語活動を通してのコミュニケーション力の研究	(指導・助言者) 豊中市教育委員会 指導主事 河上 洋介
----------------------------------	------------------------------------

(研究協議会で出された意見)

- ・ 本時、本単元の学習目標を達成するために、国名を言い馴れるチャンツやゲームをしたり、友だちどうしの英語でのやり取りなど、毎時間の取組みをコツコツ積み上げてきたので、子どもたちの動きはスムーズであり、どの活動も積極的に取り組んでいた。
- ・ 学級児童数が少ないため、教師と子どもの1対1の場面設定をしたので効果的であったが、人数が多い場合では、場面設定の工夫が必要である。

(まとめ)

1. 表現の定着のため、授業外でも表現を使う場を設定するなどの工夫を行う。
2. 発表場面では、子どもを待たせすぎないような工夫が必要である。